



iミーティングを開催しました



今回の「iミーティング」の様子を動画で紹介しています。



さまざまな媒体で情報を発信中

市HP



いせさき
情報メール



LINE



X



Facebook



YouTube



群馬テレビ
データ放送



いせさきFM
(76.9MHz)





「歴史文化の継承と新たな価値創造」 ～歴史資産を生かしたシビックプライドの醸成～

8月22日、市長が市民の皆さんと市政の課題などを話し合う意見交換会「i ミーティング」を開催しました。今回は、市内小学生が「土器ドキモンスター」について学んだ成果をパネリストとして発表。その後、市長や教育長は、専門家や地元支援団体ら大人のパネリストも交えて意見を交わしました。

問 広報プロモーション課(☎27-2711)



市HP

i ミーティングの動画はここから見るコケー！

小学生パネリストが成果発表

各小学校にゆかりのある遺跡がモデルとなった歴史キャラクター「土器ドキモンスター」の魅力をPRするポスターを作成し、クイズや寸劇など、工夫を凝らした発表を行いました。

殖蓮小学校

史跡上野国佐位郡正倉跡の八角形倉庫がモデルの「ハッソーくん」について発表しました。



▲殖蓮小学校の児童が制作したポスター。ハッソーくんと殖蓮地区の魅力をめと広めたいという思いをアピールしました

赤堀小学校

赤堀茶臼山古墳の鶏形埴輪がモデルの「ハニ・ワトリー」について発表しました。



▲赤堀小学校の児童が制作したポスター。ハニ・ワトリーと小菊の里とのコラボレーション企画やハニ・ワトリーマンホールなどを提案しました

市長や教育長・パネリストが意見交換

パネリストそれぞれの専門的な立場から本市の持つ豊富な文化財と歴史の深さについて解説し、郷土愛の醸成について意見や提案が出されました。



大人のパネリストは、八角形倉庫の発見や鶏形埴輪の翼の接合の奇跡を強調。文化財の発掘・研究の重要性や貴重な資料に触れることが郷土愛の醸成につながると話しました。